



かいじ クラブ



翔洋クラブの練習をご覧になつた感想をお願いします。翔洋クラブは、まだ日が浅いチームですが、基本的なことができているチームで、これから来年はかなり伸びると思います。



小池 一次氏
県野球連盟副理事長・かいじクラブ強化主任コーチ



チーム結成への
“苦心談”

チーム結成への “苦心談”

翔洋クラブはどんなチームを結成したばかりで、軟式のボールには慣れていないので、特に県外の試合をこなして感触に慣れてもらいたい。都留市に来てた目的は、昨年のわかれとり国体で特に印象の強いチームであったからです。今日は、胸を貸りるつもりで試合に臨みます。まだ、本格的な練習に入つて約一ヶ月です。これからがチームづくりだと思います。特に投手の上原が期待できるので、投手を中心としたチーム、守りのチームになつて行くのではな

いでしょうか。

沖縄国体に向けて、翔洋クラブへの入部を期待していた中学生のほとんどが硬式野球に進んでしまいました。そこで、一人ひとりを説得してチームを結成したが、硬式野球への執着がすれず退部していく

このことはほとんどできません。うつかり子供と遊びに行く約束なんかしたらとんでもないことがあります。今年の秋には、国体が行われるわけなんですが、当

日の軟式野球少年男子の審判員を務めるとお聞きしています。

かいじクラブは、沖縄県の国体代表チーム「翔洋クラブ」と5月4日・5日の二日間市営楽山球場にて練習試合を行いました。

「翔洋クラブ」は、硬式野球で有名な沖縄水産高校の野球部の一部が軟式に転向、今年4月、二年生を主力に結成したばかりのチームです。一年間硬式で鍛えられただけに、基本のしっかりできたチームでパワーのある打線に終始かいじクラブは押されぎみでした。

今回は、エース鈴木、岡山の両投手を欠いての対戦となり苦しい戦いを強いられましたが、森島、関戸の好投とかたい守備で第一戦は、延長11回1対1の同点にて引き分け、第二戦は1対0で勝つなど接戦を演じました。



渡慶次 全信氏
県野球連盟副理事長



金城 振次監督



審判長
斎藤夫氏

今日の試合で審判を務めるのは、都留市野球連盟審判部の審判長である斎藤夫さん、副審判長の依田英夫さん、そして小川三喜雄さん、志村英治さんの四名です。今日はご苦労さまであります。また、ゲーム経験も少ないので、選手の気力でカバーし、気勢を上げながらチームづくりをして行きました。